

2010年4月26日

東京外国為替市場委員会 第132回会合 議事録

開催日時 2010年4月20日 13:00～14:00  
場 所 日本銀行本店 新館9階中会議室  
議 長 星野 昭  
副 議 長 中野 北斗  
副 議 長 梨本 忠彦  
書 記 宮田 慶一  
出席委員 22名

I. 委員の退任および新委員の選任

小池委員より、今回の委員会をもって退任したいとの意思が示され、了承されました。

星野議長より、小池委員の後任として、以下の方から委員への立候補届けがあったとの報告があり、立候補者による所信表明、推薦人による推薦を経て委員による投票が行われ、下記候補者は全会一致で新委員に選任されました。

高木 晴久（三井住友銀行）

II. 各小委員会のメンバー構成について

星野議長より、各小委員長に対し、各小委員会の現在の体制を再確認した上で、委員入れ替えの要否について、次回本委員会で報告して欲しいとの要請がありました。

III. 本邦年金筋等による CLS 利用状況について

星野議長より、CLS から「海外ではファンド筋・年金筋による CLS 利用が進んでいる一方、本邦では CLS 利用が遅れている」との話があった旨報告がありました。本件について、星野議長より、決済小委員会が中心となって事実関係を調査して欲しいとの指示がありました。

IV. 小委員会報告

1. BCP 小委員会

葛原準委員より、2月8日に実施された3市場合同 BCP 訓練結果総括につき報告があり

ました。この中で、訓練は他市場との連携面では概ね順調に実施された一方、運用面では一部改善余地があるとの課題認識がなされた旨、報告がありました。また、葛原準委員より、3月26日にBCP小委員会が開催され、3市場合同BCP訓練結果総括から浮かび上がった課題認識について検討を行い、BCPマニュアルの見直しや訓練参加者に対する定期的なシステムIDの確認実施等につき合意した、との報告がありました。

## 2. 法律問題小委員会

今西小委員長より、4月に小委員会を開催し、小委員会の今後の運営方針につき議論を行った旨報告がありました。その結果、本委員会からの諮問への対応のほか、東京外国為替市場におけるベストプラクティスの提示や、金融経済環境の変化に伴い生じ得る法律問題に対する考察を行うことで合意した旨報告がありました。また、今西小委員長より、今後、隔月頻度で小委員会を開催し、上記論点につき議論を深めていく旨報告がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿(4月20日現在)

<委員>

議長	○星野 昭	(三菱東京 UFJ 銀行)
副議長・市場調査小委員長	○中野 北斗	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(パークレイズ銀行)
書記	○宮田 慶一	(日本銀行)
運営小委員長	○松尾 勝	(三菱 UFJ 信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリング・リソース・ジャパン)
教育小委員長	○河野 文彦	(野村証券)
法律問題小委員長	○今西 晋嗣	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNP パリバ銀行)
決済小委員長	○小松 淳	(みずほ銀行)
E コマース小委員長	○小池 正道	(三井住友銀行)
	○高木 晴久	(三井住友銀行)
	○北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	○小田川 正知	(ゴールドマン・サックス証券)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	○石川 昌信	(トウキョウ・フレックス上田ハロー)
	○大西 知生	(ドイツ証券)
	○広田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)

<準委員>

○野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○山本 嘉樹	(みずほコーポレート銀行)
○葛原 圭	(三菱東京 UFJ 銀行)
○渡邊 明彦	(日本銀行)

<オブザーバー>

藤井 大輔	(財務省)
-------	-------

(注) 敬称略(順不同)。○は今回出席。